

# 歴史的建築を、撮る。

北区には、貴重な文化遺産である数多くの建築物が現存している。今ではなかなか見られない意匠、当時ならではの様式や素材使いなど、その建築が持つ空気や周囲と調和する風景、気に入ったポイントをカメラで切り取りたい。



※公開は屋外のみ。

国指定重要文化財 A-5/21

## 札幌農学校第2農場

北18条西8丁目 北海道大学構内

明治10年(1877)に建設された一軒の畜産農家を模した実績・模範農場。当時のアメリカ中西部で用いられていた軽木骨造りのバルーン・フレーム(風船構造)様式を採用。乳牛などの畜産経営のノウハウがなかった時代に、近代的な欧米の技術を導入したモデル施設であり、12棟の興味深い建物が並ぶ。大正元年(1912)に建てられた緑飼貯蔵庫は道内最古のサイロ。模範家畜房(モデルバーン)は、W・ホイラーの設計に基づき、安達喜幸が実施設計を行った。壁面に牛の彫刻が施されている。

旧藤高等女学校校舎跡(現キノルド資料館) B-5/22

北16条西2丁目 藤学園内



カトリック札幌教区長のキノルド司教が尽力し開校。校舎はスイス出身のヒンデル氏による設計で、タマネギ型の塔を乗せていることから「玉ねぎ塔の校舎」と呼ばれて親しまれていた。その後解体され、外観の一部を再現した資料館が建てられた。

北海道大学旧札幌農学校図書館読書室・書庫

北9条西8丁目 北海道大学構内

国登録有形文化財 A-5/13

T字型平面を持つ木造平屋建の読書室は、主棟屋根上部にある2つの小塔と側面に交互に並んだ窓上の三角と楕円のペディメント装飾が特徴。書庫はレンガ造の2階建。明治35年(1902)竣工。

国登録有形文化財 A-5/13



※外観観覧のみ。

篠路駅周辺の倉庫群 E-3/71

篠路3条7丁目

かつては石造りやレンガ造りの多くの倉庫が建ち並んでいた篠路駅周辺。全国に向けて玉ねぎを発送するなど、野菜の出荷基地だった。

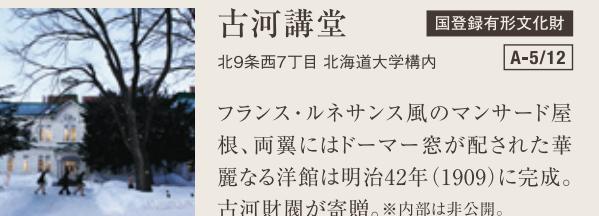


※個人の牧場のため見学不可。

近藤牧場 B-2/30

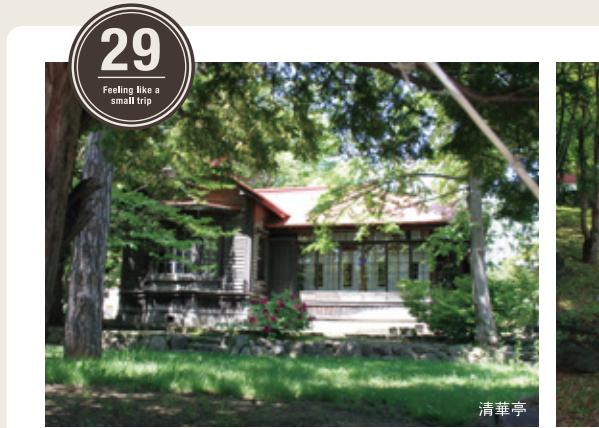
新川694

大正4年(1915)創業の市街地に残る数少ない牧場のひとつ。非常に珍しい構造の木製サイロと札幌軟石を使用したサイロを持つ。



国登録有形文化財 A-5/12

フランス・ルネサンス風のマンサード屋根、両翼にはドーマー窓が配された華麗なる洋館は明治42年(1909)に完成。古河財閥が寄贈。※内部は非公開。



国登録有形文化財 A-5/12

フランス・ルネサンス風のマンサード屋根、両翼にはドーマー窓が配された華麗なる洋館は明治42年(1909)に完成。古河財閥が寄贈。※内部は非公開。

国登録有形文化財 A-5/12

北9条西7丁目 北海道大学構内

北9条西7丁目 北海道大学構内</p